

平成 29 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：乗鞍岳における高山植生の調査

英文：Investigation of alpine plants on Mt. Norikura

研究代表者 泉山茂之

参加研究者 高橋耕一，大堂太朗，大嶋克海，鈴木里奈，武田宗一郎

研究成果概要

乗鞍岳において、以下の項目について、引き続き、調査研究を行った。

- ・ 植生の長期モニタリング
- ・ 森林の物質生産，炭素循環
- ・ 土壌呼吸速度
- ・ 森林の更新動態
- ・ アキノキリンソウの遺伝的分化

温暖化に対する応答予測の研究の一環として、上記の項目について、標高 1600～2800m 範囲（5 地点）で標高傾度にそって調べている。2017 年では、とくに土壌呼吸速度と森林の物質生産について調査を行った。

土壌呼吸に関する研究では、原則として 7～10 月の間、毎週、標高傾度にそって測定した。さらに 2800m では土壌呼吸速度の日変化を明らかにするために、7～10 月まで自動測定によって 1 時間間隔で測定した。地温，気温，日射量も同時に測定していたため、土壌呼吸速度の日変化に対する気象の影響を解析する予定である。

「標高傾度にそったアキノキリンソウの遺伝的分化」に関しては論文としてまとめたところであったため、共同利用研究成果発表会では、そのことについて発表した。

整理番号 D09